

令和2年度 草津市障害者自立支援協議会 相談支援部会の実施結果

部会長 節木哲也氏（地域生活支援センター 風）

副部会長 河地千衣氏（社会福祉法人にぎやか会 歩歩）

参加機関 草津市委託相談支援事業所、草津市内指定特定相談支援事業所、滋賀県障害者自立支援協議会菅沼氏、障害福祉課

（特定相談支援 12 か所、障害児相談支援 8 か所）

会場他 草津市立障害者福祉センター：2階会議室／年4回開催／午後1時半～3時

	開催日時	開催概要	参加
第1回	R2.8.19(水)	<p>【テーマ】各相談支援事業所の情報交換他</p> <p>（意見）指定特定相談支援事業所の相談員は一人事業所も多く、なかなか福祉サービスの情報を得ることが難しい。特に新規開設の相談支援事業所の相談員も、どこにどのような福祉サービスが存在するのかわかりにくい。さらに、18歳未満の障害児と成人のサービスの運用等も市役所に一つ一つ聞いている現状。こういう部会を通して理解していきたい。</p>	17名
第2回	R2.10.21(水)	<p>【テーマ】18歳未満の障害児から成人のサービスの移行について</p> <p>（報告）①指定特定相談事業所への巡回訪問の結果の報告 ②草津市相談支援体制検討プロジェクトの説明 ③草津市指定特定相談体制強化費補助金の説明 ④新規開設グループホームの情報提供</p>	13名
第3回	R2.12.16(水)	<p>【テーマ】PCAGIP法による事例検討</p> <p>事例提供者：アザレア／支援を必要とする精神障害の母親と子どもの家庭への支援について</p> <p>（報告）草津市相談支援体制検討プロジェクト経過報告</p> <p>（意見）今回のPCAGIP（ピカジップ）による事例検討のファシリテーターは節木氏、板書を河地氏が担当した。3回の巡回と、4人程度の班でクロージング（まとめ）を行った。事例提供者が参加者の質問に対応しファシリテーターと参加者がその相互作用を通じて、参加者の力を最大限に引き出し、事例提供者に役立つ新しい取り組みや具体的なヒントを見いだすことができた。</p>	16名
第4回	R3.2.17(水) （一部 zoom での参加）	<p>【テーマ】新型コロナウイルス感染症にかかる在宅生活困難障害者等支援事業の説明と依頼</p> <p>（報告）①社会資源の情報提供 ②養護者等からの要望等について</p> <p>（感想）濃厚接触者への支援の手引き（草津市版）について説明し、新型コロナ感染によって生じる利用者及び利用者の家族での対応について協議。相談部会も対面と zoom による対応を行ったが、一部音響が悪く全体のオンライン会議や研修実施スキル向上が課題。</p>	13名

草津市自立支援協議会 部会・プロジェクト活動報告

部会・PJ名	草津市障害者(児)自立支援協議会 相談支援部会	報告者	河地千衣
部会長	河地氏(にぎやか会・相談支援事業所 歩歩)		
副部会長	白井氏(こなん SSN・相談支援事業所 大地)		
参加機関 委員	草津市障害福祉課//法人本部企画事業部 ケアシステム推進課(グロー) ㊦精神障害者地域生活支援センター風(周行会)//大地(こなん SNN)//わかたけ(若竹会)//ディフェンス(ディフェンス)//アザレア(アザレア)//ライフケア向日葵(ふくろう)//草津市障害者福祉センターほっとココ(草津市心身障害者連絡協議会)//歩歩(にぎやか会) ㊧クロスロード(REDBLUE)//おひさまハウス(SUNNYSIDE)//スマイル空(企画組合労協センター事業団)//発達支援センター 14 機関		
事務局	草津市障害者福祉センター		

活 動 報 告

今年度のねらい	・草津市における課題を抽出し、提言していく。 ・相談支援事業所間の交流や研修を実施し、必要な知識やスキル等の向上を目指す。		
回数	開催日時	概 要	参加数
第 1 回	令和 3 年 5 月 19 日 13 時 30 分～ 15 時 30 分	<p>【テーマ】「相談支援の仕組み・報酬改定の理解から考える。」</p> <p>【会 場】草津市立障害者福祉センター</p> <p>【内 容】①滋賀県障害者自立支援協議会事務局の大平氏を招き、報酬改定の概要や報酬改定後のポイントの講義、勉強会。質疑応答。</p> <p>②今回の報酬改定に伴い、試算シートを用いて前年度の報酬額と比較を行う。</p> <p>③「草津市相談支援体制プロジェクト会議」からの報告。</p> <p>④意見交換会</p> <p>⇒・相談業務を実施する中で、生きる意味の探求とありのままのよさという軽やかさのバランスの難しさ</p> <p>・緊急時の際、資源が少ないため調整が難しい。</p> <p>・利用者さんからの相談員への心無い言葉に精神が擦り切れる思いになった。</p> <p>・計画書作成以外の業務量が多く、計画書の作成が滞ってしまう。</p> <p>○一人職場の相談員が多く、仕事を遂行する中で不安や悩みを抱えている。相談員へのメンタルサポートの必要性。</p> <p>○短期入所施設、緊急対応事業の施設がない。資源不足が課題。</p>	機関数 11 機関 人数 18 名

第2回	令和3年 7月21日 13時30分～ 15時30分	<p>【テーマ】事例検討会</p> <p>【会場】草津市立障害者福祉センター</p> <p>【内容】①「多機関が関わっている要保護対策協議会の対象児への支援の取り組み」について 発達支援センターの倉田氏より事例提案。ピカジップ法にて事例検討会を実施</p> <p>②新規相談【一般相談・計画相談】の相談応受状況報告(センター長 涌井氏より)</p> <p>③「草津市相談体制プロジェクト」の現状報告・相談支援事業所の巡回訪問について(基幹相談支援コーディネーターより)</p> <p>④意見交換会</p>	機関数 11機関 人数 14名
第3回	令和3年 9月15日 13時30分～ 15時30分	<p>【テーマ】介護保険と障害福祉の連携</p> <p>【会場】草津市立障害者福祉センター</p> <p>【内容】①「介護保険と障害福祉の連携」 ゲスト:玉川地域包括支援センター長 島村氏</p> <p>○機関相談コーディネーターより、介護保険と障害福祉の連携の必要性について、事例や課題を通して現状報告</p> <p>○各相談員が、介護移行に際しての現状や難しさを意見交換する。</p> <p>⇒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険に移行する際、どのような暮らしをされてきたのか、ケアマネジャーは分からない。ケアマネジャーや行政との引継ぎや連携の重要性 ・介護保険移行について、本人は納得・理解しているのか。 ・行政との役割分担 ・相談員の説明する力の重要性 ・多職種連携の必要性 	※ zoom で開催
第4回 (予定)	令和3年 11月17日～ 13時30分	<p>【テーマ】(案)相談支援事業の成り立ちと相談支援の質の向上について</p> <p>【会場】草津市立障害者福祉センター</p>	
総評	<ul style="list-style-type: none"> ・草津市における資源の強みと弱みを抽出し、実態を把握 ・重層的支援体制の整備 ・多職種連携、相談員同志の連帯感、情報共有の重要性 ・事業所の半数が相談員の一人職場である。孤独感・煩悶感⇒相談員のメンタルサポートの必要性 		

R4年度 草津市自立支援協議会 部会・プロジェクト活動報告

部会・PJ名	相談支援部会	報告者	大地 小林
部会長	小林氏（大地）		
副部会長	中原氏（わかたけ）、藤澤氏（ほっとココ）		
参加機関 ・ 委員	おひさまハウス、クロスロード、草津市発達支援センター、ディフェンス、わかたけ、風、アザレア、はたらこっと、大地、歩歩、ほえーる、ぽアソ、栄寛、ほっとココ、障害福祉課、基幹コーディネーター		
事務局	草津市立障害者福祉センター		
活 動 報 告			
R3年度のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●利用者の思いに添った質の高いサービス等利用計画書の作成を目指し、研鑽する ●他機関との連携や相互協力が活発に行えるように情報共有をする ●地域課題の共有と検討 		
回数	開催日時	概 要	参加数
第1回	令和4年 4月27日 13時30分 ～ 14時30分	<p>【テーマ】<u>意見交換・事例検討</u></p> <p>【会 場】草津市立障害者福祉センター</p> <p>【内 容】○今年度の部会の進め方についての確認 ○計画相談の実態 (報酬で請求できない支援についてなど、各相談員の業務の実態を報告) ○事例検討：事例について2グループに分かれての意見交換</p>	機関数 11 人数 13名
第2回	令和4年 5月19日 13時30分 ～ 15時30分	<p>【テーマ】<u>介護保険と障害福祉の連携</u></p> <p>【会 場】草津市立障害者福祉センター</p> <p>【内 容】事例報告を踏まえて下記の事項等について検討した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害特性に応じた支援とは何か ・介護保険へ移行した際、通院介助等、障害サービスとの違い ・加齢に伴う身体機能低下のアセスメント <p>⇒解決に向けてワーキングチーム等を設けて検討するか方向性を考える ※基幹でのまとめを行った。</p>	機関数 6 人数 12名
第3回	令和4年 7月21日 13時30分 ～ 15時00分	<p>【テーマ】<u>精神障害者の地域での暮らしの課題についての事例検討等</u></p> <p>【会 場】草津市立障害者福祉センター</p> <p>【内 容】○参加機関からの近況報告 ○新規事業所紹介、告知（居宅介護事業所「心のさと」） ○事例検討、意見交換（上記テーマについて）</p> <p>⇒結果としては、課題の共有と社会資源の乏しさの再認識することになったが、今後、「障害のある人加齢変化を学ぶ」学習会の予定を告知した</p> <p>○その他：去年度からの検討事項である「虐待」と「入浴」の件は引き続きテーマ設定をしてほしいという意見があった</p>	機関数 11 人数 14名

第4回	令和4年 9月22日 13時30分 ～ 15時30分	<p>【テーマ】<u>障害者虐待の防止</u></p> <p>【会場】草津市障害者福祉センター</p> <p>【内容】特定非営利活動法人あさがおの井関氏に虐待防止法以前の状況から法律ができるまでの経緯を説明していただき、法律の目的を共有。明らかな虐待だけでなく、虐待につながっていく可能性のある不適切支援とは何か、気になることがあればまず当事者の居住地の虐待防止センターに相談することの重要性を確認した。</p>	機関数 9 人数 14人
第5回	令和4年 11月17日 13時30分 ～ 15時30分	<p>【テーマ】<u>相談支援と教育機関との連携</u></p> <p>【会場】草津市障害者福祉センター</p> <p>【内容】おひさまはうす中村相談員より事例をまじえて、相談員としてのかかわり方や、<u>当事者や家族の思いを実現していくための支援機関（教育分野と福祉分野等）の調整等の実践から支援者の視点を共有した。</u></p>	機関数 9 人数 14名
第6回	令和5年 1月19日 13時30分 ～ 15時30分	<p>【テーマ】<u>草津市要援護者の個別避難計画について</u></p> <p>【会場】草津市障害者福祉センター</p> <p>【内容】草津市総合政策部 危機管理課 橋本氏・川元氏より災害対策基本法に基づく個別避難計画の策定について説明を受ける。ハザードマップなどから土砂災害の危険区域で生活している障害者で計画策定に同意された方から複数年で順次計画を立てていく予定。障害分野では相談支援専門員に協力依頼があった。<u>対象地域以外の障害児者の計画についてはその都度情報提供を行う。個別避難計画作成のために地域の人との協力体制や日頃からの地域とのつながりをどのように作り上げていくか議論をした。</u></p>	機関数 10 人数 14名
第7回	令和5年 3月16日 13時30分 ～ 15時30分	<p>【テーマ】<u>介護保険制度と障害福祉制度の関係再考</u> ～障害者本人の自己決定を支援するために～</p> <p>【会場】草津市障害者福祉センター</p> <p>【内容】佛教大学社会福祉学部社会福祉学科 孔栄鐘氏より講演。 現行の制度が国のどのような政策のもとで作られたのかを知り、支援者として「制度として決まっているから」ではなく、なぜそのような制度になっているのか疑問を持ってとらえていくこと、制度上の課題は国に対して要望をあげていくこと、現状の中では制度がこうだからではなく、<u>当事者が生活生活の中でどのように困っているのか、そのためにはどんな支援が必要なのかを支援者として見極めていかなければならないことを共有した。</u></p>	機関数 10 人数 15名